

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は9月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

全国訪問看護事業協会 令和3年度研修会 (Web開催)

申込受付期間 10月27日(水)まで
受講可能期間 2か月間

◎訪問看護師基礎研究会——横

訪問看護の第一歩(第2回)

内容 訪問看護における接遇／訪問看護の実際と訪問看護利用者の理解・多職種との連携／あなたが目指す訪問看護とは／訪問看護の制度の理解／リスクマネジメントの視点／訪問看護における家族支援

参加費 会員1万7000円、非会員3万2000円

講義時間 約10時間

対象 訪問看護に従事する看護師等

◎訪問看護新任管理者研修会——

これだけは知っておきたい管理者業務(第2回)

内容 訪問看護ステーションの管理業務の概要・管理者の役割／訪問看護ステーションの経営管理／管理者としての課題の抽出・分析と今後の目標／訪問看護ステーションに関わる諸制度と訪問看護を取り巻く状況／訪問看護にお

るICT活用のための基礎知識／ICTを活用した訪問看護ステーションでの管理業務の実際／訪問看護ステーションにおける質の管理

参加費 会員1万7000円、非会員3万2000円

講義時間 約9時間

◎訪問看護ステーションの管

理者、または管理者になる予定の保健師・看護師・助産師で訪問看護の新任従事者を対象とした研修会(訪問看護師基礎研究会や訪問看護新任管理者研修会、他団体主催の同等の研修会)修了者

◎訪問看護新任管理者研修会II 経営管理の基本(第2回)

内容 訪問看護事業所における事業計画・予算の立て方／労務管理の基礎知識

参加費 会員8000円、非会員2万2000円

講義時間 約4時間30分

◎訪問看護新任管理者研修会

修了者、または過去に訪問看護新任管理者研修会を修了した者

◎訪問看護師のための再度確認！ 保険請求業務(第1回)

内容 訪問看護ステーションにおける介護保険・医療保険の算定構造／保険請求の実際／公費請求の実際／間違えやすい請求／訪問看護実務相談Q&Aの活用／令和3年4月の介護報酬改定につ

て
参加費 会員8000円、非会員2万2000円

講義時間 約6時間

◎訪問看護に従事する看護職

員(准看護師除く)、管理者またはそれに準ずる看護職員と視聴できる事務職員

【以下共通】

◎全国訪問看護事業協会

☎03-33351-5898

☎03-33351-5938

<https://www.zenhokan.or.jp/>

第26回聖路加看護学会 学術大会(Web開催)

日程 11月1日(月)～11月30日

(火)

テーマ 意思決定と健康とWell-being

プログラム 大会長講演「意思決定と健康とWell-being」中山和弘(聖路加国際大学)／教育講演「患者中心の意思決定を支えるツール——ディシジョンエイド

の開発・活用・普及・教育」大坂和可子(慶應義塾大学)／特別講演「看護実践における健康生成論とストレス対処力概念SOCの応用」戸ヶ里泰典(放送大学)／シン

ポジウム「ディシジョンエイド開発の現状、普及への課題」青木頼子(富山大学)ほか／ミニ講座

「ディシジョンエイドを作ってみよう！ 作成の基本からQ&Aまで」大坂和可子(慶應義塾大学)ほか

参加費(発表なし) 会員5000円、非会員6000円、学生3000円

参加登録期間 11月25日(木)まで

◎事務局

〒104-0044

東京都中央区明石町10-1

☎03-3543-6391(代表)

✉sln26@slcn.ac.jp

<https://www.sln26.net/home>

第59回全国自治体病院 学会(現地+Web開催)

日程 11月4日(木)～5日(金)

会場 奈良県コンベンションセンター、なら100年会館、ホテル日航奈良(いずれも奈良市)

テーマ 地域医療を守る——チームで挑む、再生と未来

プログラム 総会特別講演①「コロナ禍を踏まえた地域医療の今後の在り方(仮)」福島靖正(厚生労働省)／②「患者と医療者が協働する医療を目指して」山口育子(ささ

えあい医療人権センターCOML)／③「奈良時代の医療と薬——聖武天皇と光明皇后」西山厚

(半蔵門ミュージアム)総会シン

ポジウム①「チーム力で地域医療を守る」——最後の砦は自治体病院 荒井正吾（奈良県知事）ほか／②「大規模自然災害に備え自治体病院ができること」——新型コロナウイルス感染症対応を含めて「石井美恵子（国際医療福祉大学）ほか／会長特別講演「自治体病院における地域医療構想、働き方改革、医師偏在対策（仮）」小龍豊（全国自治体病院協議会）／名誉会長特別講演「生命のち輝かそう自治体病院——with coronaの時代に（今こそ真価を!!）」邊見公雄（全国自治体病院協議会）／看護・看護教育分科会「地域医療を支える看護職の挑戦」臨床医学分科会「A・I・O・Tの利活用による地域医療の未来」臨床医学分科会（精神科領域）「健康寿命をいかに伸ばすか」——その課題と展望／薬剤分科会「きり拓け！自治体病院薬剤師の未来」／臨床検査分科会「地域医療におけるこれらの臨床検査技師のあり方」／放射線分科会「最先端の進化する画像診断と治療——患者に寄り添ったチーム医療を目指して」／栄養分科会「病院と地域を栄養で繋ぐ」／リハビリテーション分科会「ロボット技術による地域医療の再生と未来」／栄養・リハビリテーション分科会合同シンポジウム「リハ栄養で地域を守る」／臨

床工学分科会「臨床工学技士の可能性を拓く」／経営・管理分科会「働き方改革とチーム医療」／地域医療・連携・福祉分科会「待ったなしの今、地域包括ケアの実践——地域で多職種連携で患者中心の医療・看護・介護を実践する」／地域医療・連携・福祉分科会精神科領域「地域高齢者にみられるこころの諸問題」

参加費（当日参加） 一般1万2000円、学生無料
 事務局
 〒638-8551
 奈良県古野郡大淀町大字福神8-1

南和広域医療企業団南奈良総合医療センター内
<https://www.c-linkage.co.jp/59jma/index.html>

訪問看護サミット 2021 (Web開催)

日時 11月6日(土) 13:00~17:00
 テーマ どんな時も共にある訪問看護をめざして、ポストコロナの最善のシナリオを描こう！

プログラム 特別講演「ポストコロナの時代、訪問看護に求めること」波平恵美子（お茶の水女子大学）実践報告「新型コロナウイルス感染者に向き合ってきた私たち」：「新型コロナウイルス対策の最

前線にて」深津恵美（北海道江別保健所）／「神戸市における新型コロナウイルス感染症の自宅療養・入院待機者への訪問——新型コロナウイルス感染者の命を守る訪問看護

藤田愛（北須磨訪問看護・リハビリセンター）／教育講演「訪問看護の未来に向けて足元を着実に固めよう」：1「高齢者の尊厳をどう守るか——高齢者への虐待に着目して」山口光治（淑徳大学）、2「コロナハラスメントのない心地よい職場環境の実現」三不明子（関西医科大学）／鼎談「訪問看護と地域のつながり——BCPを活かす」團野一美（訪問看護ステーションひなた）、板野裕美（安芸地区医師会総合介護センター）

参加費 3000円（資料送料込）事前参加申込締切 10月1日（金）申込方法 左記Webサイトの申込フォームより
<https://www.jvnt.or.jp/summit2021/entry.html>
 事務局
 ☎03-5778-7001
<https://www.jvnt.or.jp/summit2021/index.html>

日本うんこ文化学会 第1回学術集会 (現地+Web開催)

日程 「オンライン」11月6日(土)

7日(日)、「オンデマンド配信」11月8日(月)~30日(火)※予定場所 サイエンスヒルズこまつわくわくホールB・C（石川県小松市）

プログラム 学術集会長講演「『うんこ文化』学の創生：広々と『気持ちよく出す』を叶える」榊原千秋（うんこ文化センターおまかせうんこタッチ代表）／記念対談「『うんこ文化』の往復郵便：食べることと出すことについて」頭木弘樹（文学紹介者、榊原千秋）特別講演「『うんこ文化』と健康エンタメ：もっと楽しく医療情報『うんコレ』で救える命がある！」石井洋介（日本うんこ学会会長）／株式会社ponmed代表取締役／「『うんこ文化』と住環境：暮らしと住まいのかたちのフロンティア」園田眞理子（アーキテクト代表）／「『うんこ文化』と循環社会：下水道×再生エネルギーのソリューション」阿部千雅（日本下水道事業団ソリューション推進部長）／「『うんこ文化』とすっきり革命：世界中をすっきりさせ、うんこという世界へ」田口たかし（ウンログ株式会社代表取締役）ほか

定員 400人
 参加費 正会員6000円、準会員3000円、それ以外9000円

参加方法 左記URLより

<https://forms.gle/PKNAbvjxWZSMny8>

事務局（うんこ文化センターおまかせうんこタッチ）
 〒923-0945
 石川県小松市末広町88

unkobunkagakka@sorabuta.com
<https://www.facebook.com/unkobunkagakka>

第24回日本腎不全看護学会学術集会・総会 (現地+Web開催)

日程 11月13日(土)~14日(日)
 会場 福岡国際会議場（福岡市）

テーマ 慢性性と緩和ケアを考える——腎臓病と生きる人々とともに
 プログラム 大会長講演「慢性性と緩和ケアを考える——腎臓病と生きる人々とともに」中村光江（日本赤十字九州国際看護大学）／特別講演①「緩和ケアを臨床に根付かせるために——キーパーソンは看護師！」小松浩子（日本赤十字九州国際看護大学）／②「病いところのゆらぎ慢性腎臓病と生きること」中島由希子（福岡県腎臓病患者連絡協議会）／教育講演①「宗教と看護——生きる人のためのスピリチュアルケア」玉置妙憂（大慈学苑）／②「患者参加型医

療と共同意思決定」小松康宏(群馬大学)／シンポジウム「非がん患者のACP」本庄恵子(日本赤十字看護大学)ほか／多職種連携シンポジウム「緩和ケアの視点での実践(仮)」

【関連運営事務局】

〒8639-0809

福岡県久留米市東台川3-10-36

西日本企画サービス内

☎0942-44-5800

FAX 0942-44-6655

✉jann24@nksnet.co.jp

http://www.nksnet.co.jp/jann24/index.html

日本リハビリテーション看護学会第33回学術大会
(Web開催)

日程 11月22日(月)～12月21日

(火)予定(オンデマンド配信)

テーマ もてる力をみつける・支える・のびる

プログラム 基調講演 大久保暢子(聖路加国際大学)／特別講演「記憶喪失になった僕がみた世界」坪倉優介(草木染作家)／教育講演①「食べる力をあきらめない」小山珠美(口から食べる幸せを守る会)／②「多職種で行う認知症ケア」鈴木みずえ(浜松医科大学)／パネルディスカッション①「経口摂取への取り組み」②「COVID-

D-19とリハビリテーション」

参加費「事前登録(抄録なし)」

会員5000円、非会員7000円

学生2000円、「事前登録抄録あり」会員8000円、非会員1万円

「参加登録(抄録なし)」

会員5000円、非会員7000円

学生2000円

事前参加申込期間 10月29日(金)まで

【関連運営事務局】

〒162-0825

東京都新宿区神楽坂4-1-11

オサワビル2階 ワールドフランキング内

☎03-5206-7431

FAX 03-5206-7757(常設)

✉hna.taka@world.jp

http://www.jna33.net/index.htm

第21回日本クリニカルパス学会学術集会
(現地+Web開催)

日程 11月26日(金)～27日(土)、

オンデマンド配信11月26日～12月22日(水)

会場 山形テルサほか(山形市)

テーマ 時代に即するみんなのクリニカルパス

プログラム 理事長講演 山中英治(若草第一病院)／会長講演

石井政次(済生会山形済生病院)／招待講演①「芸術はこころの病院」中山タイスケ(東北芸術工科大学)／②「鶴岡サイエンスパークが創る、未来の健康社会」富田勝(慶應義塾大学)／特別講演①「限界集落に建つ『老朽、弱小、貧乏水族館の逆転劇』村上龍男(鶴岡市立加茂水族館)／②「食は生命なり」とドキュメンタリー映画「よみがえりのレシビ」岡田まさこ(協同組合山形給食センター)／特別教育講演「教育とハラスメントの分岐点」松崎一葉(筑波大学)／シンポジウム①「認知症のある人が、本当に地域で生き生きと暮らしていくためにできることは——クリニカルパスの視点から——三原美雪(三原皮膚科)／②「多職種チーム、地域連携で取り組む心不全診療とクリニカルパス」菅原重生(日本海総合病院)／③「地域で活躍するメディカルスタッフ——地域連携パス、退院支援——在宅医療」岡田晋吾(北美原クリニック)ほか／④「BOM(Basic Outcome Master)を広く使っていたために」伊藤淳二(青森県立中央病院)／⑤「パスと教育——ありがちなパスの弱点を克服しよう——齋藤登(獨協医科大学埼玉医療センター)／⑥「癌の地域連携パス——なぜ軌道にのらないのか」川口清(済生会山形済生病院)ほか／⑦「クリニカルパス業務と医療のタスクシェア／シフト——明るい職場の働き方」今田光一(若草第一病院)ほか／⑧「肺炎パンデミック——増加する肺炎診療にクリニカルパスを活用しよう」鈴木俊郎(若手県立胆沢病院)／⑨「チーム医療を推進するための記録を考える——多職種による看護記録の活用」田中和美(済生会山形済生病院)ほか／⑩「地域包括ケアシステムにおける地域連携パス——多職種・多施設での共有」石井政次／パネルディスカッション①「病院経営を意識したパスの作成・運用・見直し——各専門職の目線——」長塚真紀子(山形県立中央病院)ほか／②「大腿骨頸部骨折地域連携パスにおける多職種連携——2次骨折予防に向けて」遠藤武秀(済生会山形済生病院)ほか／③「これから緩和ケアとクリニカルパス」神谷浩平(MV wels地域ケア工房)ほか／④「リアランスの失敗体験・成功体験」勝尾信一(福井総合病院)／クリニカルパス教育セミナー①「BOMを自在に使いこなすテクニク」今田光一(若草第一病院)ほか／②「パスと記録(仮題)」森崎真美(済生会熊本病院)ほか／③「リアランス分析(仮題)」小林美津子(相澤病院)ほか／④「医療ケアの質改善(仮題)」

岡本泰岳(トヨタ記念病院)ほか

参加費「事前」会員1万円、非会員1万1000円、「当日」会員1万2000円、非会員1万3000円

事前参加登録期間 11月1日(月)正午まで

【関連運営事務局】

〒980-0824

宮城県仙台市青葉区支倉町4-34

丸金ビル6階 日本コンベンションサービス東北支社内

☎022-722-1311

✉jscp21@convention.co.jp

https://site2.convention.co.jp/jscp21/index.html

第16回医療の質・安全学会学術集会
(Web開催)

日程 11月27日(土)～28日(日)

テーマ 心でつなぐ安全文化——Cosmetic complianceとの戦い

プログラム 特別講演／企画演題／一般演題／教育セミナー

【関連運営事務局】

〒100-0013

東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル14階 日本コンベンションサービス内

✉16gsn@convention.co.jp

https://site2.convention.co.jp/16gsn/

愛知県看護協会訪問看護認定看護師教育課程令和4年度受講者募集

試験日 2021年12月13日(月)
教育期間 2022年5月～2023年3月

講義は金・土(5～10月)、演習は木・金・土(11～1月中旬、1月は金・土)、実習は月・金(1月中旬～2月中旬)

※仕事を継続しながら受講ができません。

定員 15名

出願期間 2021年11月19日

(金)～30日(火)

申込方法 左記ホームページを参照

☎ 公益社団法人愛知県看護協会
教育センター

052-871-0761

<http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/>

日本看護サミット2021

(現地+Web開催)

日時 2022年2月4日(金)
10:00～16:15

会場 パシフィコ横浜国立大ホール(神奈川県横浜市)

※新型コロナウイルス感染症などの影響により、開催方式を変更する可能性あり。

る可能性あり。

テーマ 看護職の就業継続が可能な働き方で、看護の未来を拓く

プログラム 解説「看護職の働き方改革——2015・2020年の取り組みの成果と今後の課題」

秋山智弥(日本看護協会副会長)／特別講演「看護の未来を拓く働き方(仮)」村木厚子(元厚生労働事務次官、津田塾大学客員教授)／鼎談「2040年に向けて、いま看護職に求められる働き方」

石田昌宏(参議院議員)、厚生労働省、友納理緒(日本看護協会参与)／シンポジウム「多様な人材を活かす、多様な働き方」奥裕美(聖路加国際大学大学院看護学研究科教授)、折笠清美(新小山市

民病院看護部長)、森山由香(飯塚病院副院長兼看護部長)、小西美智子(明和会大野浦病院看護部長)／サミット宣言 福井トシ子(日本看護協会会長)／ほか

参加費 事前申込5500円、当日参加7700円

事前申込締切 2022年1月10日(月)

☎ 「日本看護サミット2021」特設ホームページ

<https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/summit/2021>